参考１

八尾市はつらつプラン　施策推進のための数値目標【令和7年度実績】

指標項目	R元（2019）年度 プラン改定時	R5（2023）年度 状況	R6（2024）年度 状況	R7（2025）年度 状況	目標達成に向けた取り組み実績	R8（2026）年度 目標値
基本目標Ⅰ：男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成						
男女共同参画が実現していると思う市民の割合（%） ※八尾市民意識調査「あなたは性別に関わらず男女が互いに認め合える社会が実現していると思うか。」	33.2	27.7	28.5	36.8	・男女共同参画センター「すみれ」（以下「すみれ」）を拠点に、男女共同参画にかかる情報発信や啓発事業を実施した。 ・民間複業人材プロジェクトを活用し、アドバイザーから「すみれ」の活性化に向けた方策の提案を受け、令和7年度からの新たな取り組みに活かした。 ・公民連携事業として、民間企業と連携し、男女共同参画にかかる市民向け講座を実施した。	35.0
八尾市男女共同参画センター「すみれ」の認知度（[知っている」と答えた人の割合）（%） ※男女共同参画についての市民意識調査	7.9	―	―	9.3	・昨年度に引き続きSNSを活用した情報発信を行った。 ・女性に関する運動期間に合わせ、「すみれ」に関するWEB広告の掲出を行い、「すみれ」の周知に努めた。 ・公民連携によるセミナーの開催、庁内連携による取り組みを通じて「すみれ」の認知度向上に向けた取り組みを行った。（図書館でのクイズラリー、ひゅーまんフェスタへの出展等）	50.0
基本目標Ⅱ：あらゆる分野における女性の活躍推進						
教育・保育給付の確保方策 （2号・3号）	5,706	6,694	7,002	6,751	・公民連携により保育枠の拡大を図りつつ、待機・保留児童対策に取り組んだ。	6,729
市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合（%）	33.0 （R2.3.31）	35.5 （R6.3.31）	34.9 （R7.3.31）	32.8 （R8.3.31）	・審議会の女性委員の登用について、審議会等の設置等に関する要綱に女性委員の登用率目標を明記し、積極的な委員参画を推奨した。	40.0
女性の参画がない審議会等の数（休会中を除く）	7の審議会等 （R2.3.31）	7の審議会 （R6.3.31）	6の審議会 （R7.3.31）	5の審議会 （R8.3.31）		0
市の男性職員の育児休業取得者数及び部分休業取得者数（人）	23	40	31	48	・令和7年4月からは、子の出生直後の一定期間に両親ともに育児休業を取得するときの上乗せ給付制度および一定期間の育児部分休業取得者への給付の制度が始まり、対象者がこれらの制度を利用できるよう周知した。 ・職員が、妊娠から産前・産後休暇や育児休業を経て復職するまでの過程で必要となる手続きの案内資料や様式一式のまとめを作成し、休みに入る前の段階で必要な手続きを本人が把握できるよう案内のしくみを整備した。 ・所属長が、出産を控えている全ての職員と面談の機会を持ち、育児支援ハンドブックを直接手渡し、各種両立支援制度を説明するとともに本人の状況を把握し、育児参加と職業生活を両立できるよう、職場体制を調整する等の支援を継続実施した。	前年度比増
市の職員の出産補助休暇取得者率（%）	85.7	78.4	82.5	81.7		100.0
市役所の女性管理監督職[監督職級以上]の割合（%）	36.6	36	35.7	36.8	・育児休業中のサポートとして、メンター制度を継続している。また、休業中の職員を対象とした交流会を開催し、育休から復職に向けたより具体的な意見交換会の場とするために、育休から復職した先輩職員にも参加してもらった。 ・職員満足度向上プランを策定し、働き方を見直す取り組みとして、時差勤務制度や在宅勤務の試行実施等を推進した。	42.5
小・中学校の管理職（校長、副校長、教頭）に占める女性の割合（%）	21.8	24.1	23.0	25.3	指導主事等を含めた女性の管理職登用並びに女性のミドルリーダーの育成に努めている。	30.0
（参考指標）	小学校・義務教育学校 教頭　46.4% 小学校・義務教育学校 校長・副校長　14.3% 中学校・義務教育学校 教頭　6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長　6.7%	小学校・義務教育学校 教頭　35.7% 小学校・義務教育学校 校長・副校長　35.7% 中学校・義務教育学校 教頭　6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長　0%	小学校・義務教育学校 教頭　32.1% 小学校・義務教育学校 校長・副校長　35.7% 中学校・義務教育学校 教頭　6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長　0%	小学校・義務教育学校 教頭　32.1% 小学校・義務教育学校 校長・副校長　42.9% 中学校・義務教育学校 教頭　6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長　0%		
基本目標Ⅲ：誰もが安心して暮らせる社会づくり						
乳がん検診の受診率（%）	22.1	15.3	15.2	14.6	・集団検診でのセット検診の充実、地域での検診の実施等で利便性の高い検診を実施した。 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施し、特定の年齢への無料クーポン券や特定の年齢層への受診勧奨はがきを送付した。 ・ホームページの内容を更新し、検診の目的、対象者、受診方法、精密検査の必要性など、統一を図った。また、委託医療機関での女性のための土曜検診を掲載した。	増加
子宮がん検診の受診率（%）	27.2	17.0	17.3	16.8	・乳幼児健診と同時実施の保育付の子宮がん検診（集団検診）を実施した。 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施し、特定の年齢への無料クーポン券や特定の年齢層への受診勧奨はがきを送付した。 ・ホームページの内容を更新し、検診の目的、対象者、受診方法、精密検査の必要性など、統一を図った。また、委託医療機関での女性のための土曜検診を掲載した。 ・庁内のこども関係課にチラシ配架を行った。 ・こども総合支援センターほっぷの公式SNSにリール動画を掲載した。	増加
配偶者からの暴力を受けたことがある人の割合（配偶者等からの暴力について「されたことはない」人及び無回答の人を除いた割合）（%） ※男女共同参画についての市民意識調査	女性 29.9 男性 12.8 ※交際相手からの暴力を含む	―	―	女性 28.9 男性 13.6 ※交際相手からの暴力を含む	・困りごとを抱える女性が、「すみれ」での各種事業につながるよう生理用品の配付を継続して行っている。 ・庁内関係課による八尾市ドメスティック・バイオレンス対応連絡会を開催し、適切な連携の下で組織的に対応することにより、相談体制の充実を図った。さらに、DV被害者等について、警察署や大阪府等の関係機関との連携により一時保護を行った。	女性　15.0 男性　8.0
DV被害に対する相談窓口の認知度（「相談窓口を1つも知らない」人の割合）（%） ※男女共同参画についての市民意識調査	14.2	―	―	17.3	・市政だより、ホームページ、WEB広告、チラシ、啓発カードの配架等、多様な媒体によりDV防止のための広報・啓発を行った。	5.0